

環境レポート (2008年度 環境目標の達成状況)

国際安全管理規則(ISM-CODE)による当社の安全管理規程(SMS)が大幅に改定されるのにもない、2005年6月より環境マネジメントシステムの構築作業が船舶部において開始いたしました。その後同年11月4日、マニュアル並びに手順書の作成が完了し、2006年1月1日より当社及び当社が管理している船舶において環境マネジメントシステムの運用を開始いたしました。

2006年6月26日、日本海事協会より環境マネジメントシステム登録証書が交付され、当社における環境に対する取り組みが正式に始まり、本年6月25日で3年目の更新審査を迎える事となりました。今回の環境レポートにおいては、この3年間の当社の環境に対する全社的取り組みに関する評価並びに見直しについても報告いたします。

国際海上貨物運送業としての当社における環境活動の主目的は、運航管理、保船管理に従事する者、並びに船舶乗組員に対して環境影響や汚染の予防についての適確な環境教育を実施する事です。これにより社員及び船舶乗組員が安全運航を確保するための技術の向上が図られ、海洋汚染の予防に直接関与出来るのです。

上記の認識により、毎年の環境目標に『海難事故、海洋汚染事故の発生を“ゼロ”にする』ことを、また、その達成手段として「安全教育の徹底並びに会社と船舶間の良好なコミュニケーションの保持」を掲げてきた次第です。その結果、目標達成のために多くの時間、通信費等を費やしましたが、幸いにも事故発生“ゼロ”は達成されました。

他方で、船上設備機器の不具合ではなく、陸上側の荷役設備機器の不良により、その機器の作動油が当社管理船の船上甲板に漏洩した事故が一件発生しました。その際は本船乗組員の迅速な対応により漏洩した作動油が海上へ流出するのを止め、油汚染事故の拡大を防止することが出来ました。これは当社環境教育、訓練の成果の表れと思われれます。

また、当社管理船が米国サバンナ港にて当局の船舶検査時、廃棄物保管についての不適合(果物の皮及び食べカスを蓋の無い缶に棄っていた)により罰金1,000ドルを科される事案が発生いたしました。本件については内部監査時に是正処置につき調査を行い、適正に再発防止策がとられている事を確認しております。

＜今後の改善にむけての課題について＞

ISO14001の認証取得後3年が経過し、社内及び管理船においては当社環境方針についての理解は深く浸透してきていると考えております。しかしながら環境方針にも掲げている環境に関する国際条約や諸外国における法規制は一段と厳格なものとなってきております。また頻繁に新たな規制、法改正がなされ、その環境保全基準を適確に順守するための資源の投入は益々増大することが予想されます。

現時点において検討されている国際条約、あるいは新たに施行された法規制については次のようなものがあります。

- ①バラスト水管理条約 ----- バラスト水処理装置の設置が強制要件
- ②MARPOL条約 Annex VI の改正 ----- NOx排出規制 主機関の改造
SOx排出規制 対象海域、規制の強化
- ③米国(環境保護庁:EPA) における規制の強化

当社の全社員は、環境方針並びに目的、目標の達成に向けて、自分にはどのような事が出来るか、今日から出来る事にはどのようなものがあるかを常に考えて実行する必要があります。さらに、社員一人ひとりの環境保護活動が当社の文化として根付き、継続して改善されるようにしていかなければなりません。

＜環境会計について＞

3年間(2006 - 2008)において当社の環境マネジメントシステムに関する主だった収支は以下の通りとなります。

- ①環境教育に関連した環境審査員、内部監査員研修14名 約100万円
- ②気象サービス会社との契約 管理船4隻 約417万円
営業部運航船 約1,043万円
- ③3F消火報知器・空調工事、2F空調工事(空調温度制御の細分化) 約260万円
合計 約1,820万円

総務部で管理しているコピー用紙、コピー料金については、

- ④2007年度は2006年度に比較して 488,000円の削減効果
- ⑤2008年度は2007年度に比較して 152,000円の削減効果

電気料金(電力会社の電気使用料金改定を含む)は、

- ⑥2007年度は2006年度に比較して 705,000円の削減効果
- ⑦2008年度は2007年度に比較して 223,000円の増加
(電力使用量については2007年比+745kwh、+1%)

となり、合計1,122,000円の削減効果を得ることが出来ました。

＜燃料消費効率について＞

営業部で実施している燃料消費効率(輸送トンマイルあたりの燃料消費率)においては、

①2007年度は2006年度に比較して燃料消費効率が4.6%UP = 3,200M/Tの消費削減

(有効貨物輸送実績における削減量)

$$3,200\text{M/T} \times @412\text{ドル} \times 115\text{円} = \text{約}1.5\text{億円}$$

(CO₂削減量) 概算

$$3,200\text{M/T} \times (2.98572) = 9,554\text{トン}$$

②2008年度は2007年度に比較して燃料消費効率が1.0%UP = 240M/Tの消費削減

(有効貨物輸送実績における削減量)

$$240 \times @527\text{ドル} \times 100\text{円} = \text{約}1,270\text{万円}$$

(CO₂削減量) 概算

$$240\text{M/T} \times (2.98572) = 717\text{トン}$$

となり、合計10,271トンのCO₂削減効果を得ることが出来ました。

以上